

松本市立病院でお産されたママから
お世話になった病院へメッセージ

松本市/せきね

出産前、不安な気持ちを相談させていただいた時に
安心の言葉をもらいました。
いつもありがとうございます！

松本市/しおかわ

コロナの影響で家族との面会もできず不安ではありました。
先生、看護師の方々に親身になって話を聞いて
いたいたり、気付いていたいたいで安心してお産に
のぞめることができました。ありがとうございました。

松本市/とのさん

2人の子どもをこちらの病院で産みました。
旦那さんは育児をしていて、お産でもお手伝いして下さります。
専門の作業療法士が、首すわりや
起き上がりをして下さり、おまちやおんせんなど、生後7・8ヶ月の発達をみてます。

松本市/はるかん

娘は生後3ヶ月の授乳中に発熱があり、体温38度以上で嘔吐や嘔気の
症状で車で来院し、母子同室の途中で新生児室に移されました。
看護師、娘だけ運び入れて、私が連れてきていたときに毎日お世話と心配
に迷いました。神奈川まで何度もおかかりの育児アドバイスで、娘が心配
で泣いたりしませんが、「今日はお母さんごきゅ
ぎょー」などと声をかけてください。本当に助かりました。

今はおひら元気になり、毎日二本産んでおひらが大変ですが、
産後の不安な時刻は色々な話をうけて頂いて、市立病院
で出産して良かったと感じています。市立病院の出産部のみならず、本当にありがとうございました。

松本市/しらたま

【編】ご協力いただいたみなさん、
ありがとうございました。

小児科外来で7・8か月健診を実施

■市が行う乳幼児健康診査は、4か月健診の次は、9・10か月健診になります。その間、健診はありませんが、同科では生後7・8か月にも健診を受けることができます。毎月第4日曜(変更の場合あり)の13時30分からで、医師の診察のほかに、リハビリによる発達チェックもあります。要予約。詳細は小児科外来までお問合せを(15時30分~17時)。



市の乳健のはじまで
独自に健診を実施！

ココが
魅力!!

① 身体測定



▲看護師が体重、身長、頭囲、胸囲を測定します。

② 発達チェック



▲専門の作業療法士が、首すわりや
起き上がりの興味、寝返り、
おむちやパラシュート反射など、生
後7・8ヶ月の発達をみます。

③ 診察



▲医師から健診の結果を聞きます。栄養のサ
ポートや運動の発達の様子など、日々不安に
思っていることや心配事も相談できます。



健診を受けた
川崎清美さんと
喜士くん

体重の増え方が心配でしたが、健診の結果を見て、問題なさそうだと分かりました。これまでの育児が間違っていたかと太鼓判を押してもらえたので、これからも自信を持ってやっていきたいです。小児科の先生や看護師さんとお話しできる機会があり、安心できました。

7・8か月健診
を終えて…

- 受付時間**
平日 午前8:15~午前11:30
※診療科により受付時間が異なります。
※急诊はこの限りではありません。
- 診療時間**
平日 午前9:00~午後5:15
※ただし急诊はこの限りではありません。
- 休診日**
土曜・日曜・祝日 12/29~1/3



- 受付時間**
平日 午前8:15~午前11:30
※診療科により受付時間が異なります。
※急诊はこの限りではありません。
- 診療時間**
平日 午前9:00~午後5:15
※ただし急诊はこの限りではありません。
- 休診日**
土曜・日曜・祝日 12/29~1/3

優しい対応と手厚いケアで 子どもの健康を継続的に支援

近年、産科分娩施設が減少する中で、冒頭でお伝えしたとおり、松本市立病院は産科医・小児科医が常勤する、松本圏でも数少ない病院の一つです。ここでは、出産時の連携はもちろん、その後の子どもの健康を支えてくれる「小児科」をクローズアップ。



待合室



外来



外来

▲待合室の一角にはカーテン付きの授乳室が設けられています。待合時間を利用して赤ちゃんのお世話ができる便利です

授乳室



外来



外来

診察室



外来



病棟

▲清潔感のある明るい診察室。優しい色使いやかわいいキャラクターなど、子どもが安心して受診できることなら、何でも相談してください。

小児科病棟での入院
・母子同室の配慮！



4階西病棟看護師長
酒井洋子さん

お子さんやご家族に寄り添い、お悩みの解消に努めます！

小児科の3名の先生方にインタビュー。普段心掛けていらっしゃることを中心伺いました。

大切にしていること

みなさんの話をよく聞いて、分かる年齢になったらその子なりの説明をするようにして、どの子もうんと褒めるように心掛けています。

メッセージ

マスク、大声で歌えないなど、子どもたちも不自

由な毎日。大人も自虐ムードで大変です。「いつもと同じように起き、寝て、食べる」など、普段の生活が子どもたちも大人の心の安定につながります。4月の緊急事態宣言のころよりは新型コロナの情報が集まり、やみくもに怖がらなくていいようになってきました。正しく恐れながら、楽しく暮らしたらと思います。家族で過ごせる時間が増える分、こんな時期ですけれども、いい思い出がたくさんできますように。お子さんが体調を崩したときだけでなく、何か心配事があつたとき、小児科にお声掛けください。

趣味

畑仕事。自分で作った野菜はおいしいです。



津野 隆久先生

① 病院が怖くて泣いているお子さんが、帰るときは泣き止んでハイハイしてくれるような診察室の雰囲気を作りたいと思っています。
② カレーとコーヒーが好き



先生方に伺いました
①お仕事をされたりして大してい
ることや地域の妊婦さん
に向けたメッセージ
②劇団・特技、最近ハ
マッティングのこと
③野球・バドミント
ン・スポーツ鑑賞

小児科外来スタッフの優しい対応も評判！

小児科外来常駐の看護師3名のほか、健診時などには外来の看護師を増員して、対応にあたっています。「みんな笑顔が素敵な優しい方ばかりで、子どもたちも保護者も安心して過ごせる」と来院者に好評です。



■ 感染対策情報

松本市立病院では、感染症指定医療機関として最前線で、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めています。病院公式YouTubeでは、新型コロナやインフルエンザに負けない感染防止対策や健康づくりを解説する動画も配信中です。ほかにも、新型コロナ対策に関する情報はHPで随時更新していますので、ご確認ください。

病院公式YouTubeはこちら
https://www.youtube.com/watch?v=hEzy_Ni6nZE&feature=youtu.be

